

網走ほんりゅう組

第429号
網走教職員組合
 〒090-0836
 北海道北見市東三輪1丁目83-35
 TEL0157(31)7551
 FAX 0157(31)7559
 ab-ky@forest.ocn.ne.jp
 1月26日

合宿研と囲む会

宗谷教組 肉藤書記長を招いてin温根湯

私たちが考える道徳とは

一月十六日(土)の午後から十七日の午前中にかけて冬の合宿研が温根湯ホテル四季平安の館で行われました。

今回も、夏の合宿研に引き続き教科化される道徳に対して、我々網走教組の考える道徳とはどのようなものを創造すべきなのか活発な議論が行われました。

宗谷教組から三人の組合員をむかえての初日の話し合いは、先ず内藤書記長の道徳についての提言がなされ、「子どもたちと、この地域・この学校だからできる道徳教育を進めること」の大切さが語られ、上からの内容項目の押しつけに屈しない工夫された道徳を構築することの大切さが強調されました。

また、文部科学省から学校に下りてくるにつれて、具体的かつ制限的になっていく現状に、今後は年間指導計画の作成段階での私たちの取り組み方や、実施方法について指導者の恣意的変更や修正がなされるのは駄目で、学年の検討と校長の了解を得ることを求めるといった適宜性を排除するような所への対応などをめぐって論議が盛りました。

更に、北見支部の齊藤孝子先生の実践レポートの交流も行われ、道徳の担当者からの授業骨子の提示やプリントの例など紹介され、現状がリアルに示され有意義でした。



二日目は実践交流のレポートが二本出され意見交流が活発になりました。

夜に行われた囲む会では、本年度で退職される遠軽・紋別支部の阿部先生と本間先生を囲んでの楽しい宴を行いました。お二人のこれまでの足跡をたどり、長きにわたる教育活動へ改めて敬意を払う場となりました。残念ながら後藤先生は欠席されましたが三人の先生方に記念品の贈呈がなされました。

最後に、今回の合宿研の全日程に参加してくださいました内藤先生から感想が届いておりますので紹介します。



網走教組の学習会に参加しました。道徳の学習、実践交流と大変刺激を受けました。道徳についてはこれからの二年間で、子どもたちのためになる道徳、子どもが先生の顔色をうかがってよい子にならなくてもいいような道徳を創造していくことが大事だと感じました。活発に意見を交流し合う先生方がとっても素敵でした。さあ、宗谷もがんばらないと！

2000万署名(戦争法の廃止を求める統一署名)

戦争法の廃止を求める新たな「統一署名」運動が始まりました。安倍晋三政権が、戦争法を強行成立させてから約4カ月。全国各地で広がる運動をさらに発展させる今後の柱となる運動です。

今年、1月4日に通常国会が始まりましたが、安倍総理は、「挑戦」というキャッチフレーズを何度も使い、外交や経済で大きな成果を上げたと自画自賛の発言をしています。そして、解釈だけではなく憲法そのものの改正についても国会で発言するなど、戦争法の推進、立憲主義の破壊、国民無視の姿勢をますます強めようとしています。

この統一署名は、戦争法である「平和安全保障関連法」をすみやかに廃止することと、立憲主義の原則を堅持し、憲法9条を守り、いかすことを求めています。そして、来年の憲法記念日(5月3日)までに、有権者の約2割にあたる2000万人を突破し、さらに広げていくことを呼びかけています。

この統一署名を軸に、戦争法廃止、安倍政権打倒の世論と運動をいっそう発展させていきましょう。

網走教組では、戦争法廃止に向けて、これまで組合の内にとめてきた力を今度は外に向かって発揮していこうと考えました。そして、この統一署名を外への力の重要な取り組みとして押さえ、4月末までに500筆を目標として取り組んでいくことを冬の合宿研の際に提起しました。

各支部では、このことについて討議し、街頭署名、職場署名など、それぞれの取り組みを進めくださるようお願いいたします。

今後の集約日は、3月29日(火)、4月26日(火)となっていますので、よろしくお願ひします。

単組交流スキーツアー

11月の合同教研の帰りの車内で、宗谷教組の内藤書記長と「なにかみんなでも楽しいことしたいよねえ。」という話になり、今回、「単組交流・スキーツアー」を企画しました。例年、網走教組では「まなびバスキー」を行っている時期ということもあり、今回は共催という形で行いました。場所は比布スキー場で13時から16時まで滑りました。連日の降雪でグレンデは雪が多く、深くなっているところもたくさんありました。また、山頂では下が見えないほどの吹雪で、今シーズン初滑りの面々はスピードを抑えたり、スキーを操作したりに悪戦苦闘。太ももをプルプルさせながら滑りました。参加者は網走教組からは5名、未組織者が1名、宗谷教組からは2名でした。

スキーを終えた後は旭川市内に移動し交流会。上川教組も合流し、総勢16名(子ども3名含む)での大交流会となりました。おいしい食事や余興の組合クイズで盛り上がり、楽しいひとときを過ごしました。参加者からも「これからは各単組のつながりを大切にしたい。」という声もたくさん聞きました。宿に帰った後も興奮は冷めやらず、ホテルの部屋で遅くまで教育のこと、組合のことを語り合いました。まなびバスキーとしては開催場所や滑る時間など適切ではなかったかもしれませんが、交流の場や活動をつくるという面ではやってよかったなと思っています。交流会では「過去にセッション5というのを行っていたんだよ」という話が出ていました。そういう動きも追求しつつ、これからは道教組に集うみんなのでつながりを深めていけたらよいなと考えています。